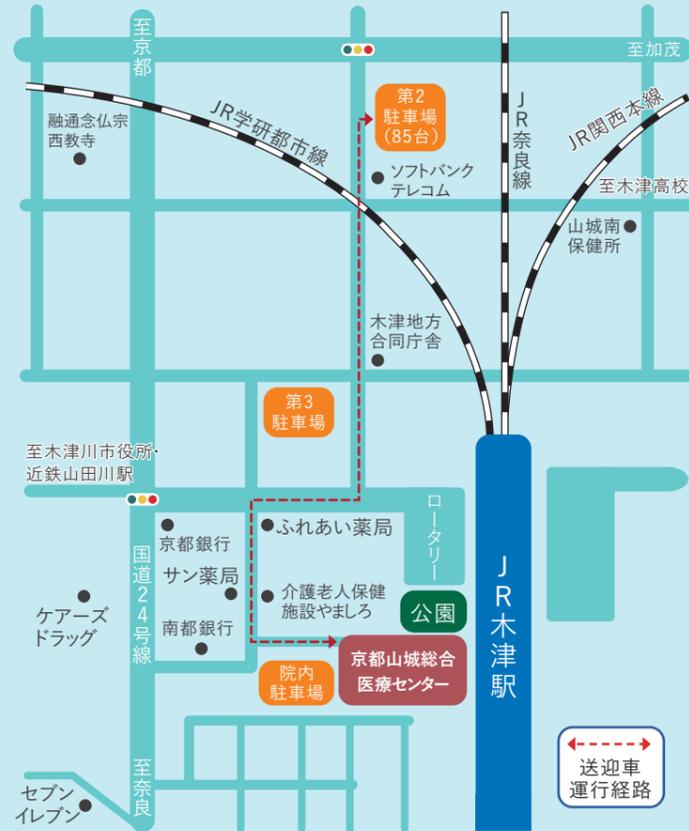


## お車でお越しの方へ



### 1 京都方面からの来院



### 2 大阪方面からの来院



#### ■ 駐車料金について

##### 外来診察の方

正面、第2、第3:入庫から8時間無料

##### ご家族・お見舞いの方

正面:入庫から30分無料 以降60分200円 最大500円

第2:入庫から4時間無料 以降60分200円 最大300円

第3:入庫から60分無料 以降60分200円 最大500円

#### ■ 院内駐車場の利用制限について

平日正午までは、妊婦、身体障害者、高齢者等の方のご利用を優先させていただきます。

#### ■ 送迎車について

第二駐車場から病院まで無料で送迎車を運行しております。(運行時間は午前7時30分から午後3時まで)

## 公共交通機関でお越しの方へ



### 1 JR木津駅西口から 徒歩1分

JR

- ・ JR京都駅から JR奈良線 約38分 (みやこ路快速)
- ・ JR大阪駅から 大阪環状線～大和路線 約59分(大和路快速)
- ・ JR天王寺駅から JR大和路線 約42分 (大和路快速)
- ・ JR京橋駅から JR学研都市線 約60分 (区間快速)
- ・ JR奈良駅から JR大和路線 約7分

### 近鉄

- ・ 近鉄京都駅から 近鉄京都線 約29分 (急行)  
新祝園駅のりかえJR学研都市線 約6分
- ・ 大阪難波駅から 近鉄奈良線 約30分 (快速急行)  
大和西大寺駅のりかえ近鉄京都線 約10分 (急行)  
新祝園駅のりかえJR学研都市線 約6分
- ・ 近鉄奈良駅から 近鉄奈良線～京都線 約17分 (急行)  
新祝園駅のりかえJR学研都市線 約6分

### 2 近鉄山田川駅から

奈良交通バス約10分 JR木津駅前下車 徒歩1分

R4.8.1発行



令和4年度

# 診療科 ご案内

当院は今年で  
創立70周年を迎えました



# 目次

目次・院内マップ ..... 01  
 はじめに ..... 02  
 外来受診について ..... 03  
 地域医療支援病院について ..... 04

⑨ 受付 消化器内科 ..... 05  
 循環器内科 ..... 06  
 腎臓内科 ..... 07  
 糖尿病・代謝内科 ..... 08  
 リウマチ科 ..... 09  
 総合内科 ..... 10  
 小児科 ..... 11  
 泌尿器科 ..... 12

⑧ 受付 脳神経内科 ..... 13  
 呼吸器外科 ..... 14

⑧ 受付 消化器外科 ..... 15  
 乳腺外科 ..... 16  
 小児外科 ..... 17  
 整形外科 ..... 18  
 脳神経外科 ..... 19

⑩ 受付 放射線科 ..... 20

⑬ 受付 産婦人科 ..... 21

⑭ 受付 眼科 ..... 22  
 皮膚科 ..... 23  
 耳鼻咽喉科 ..... 24

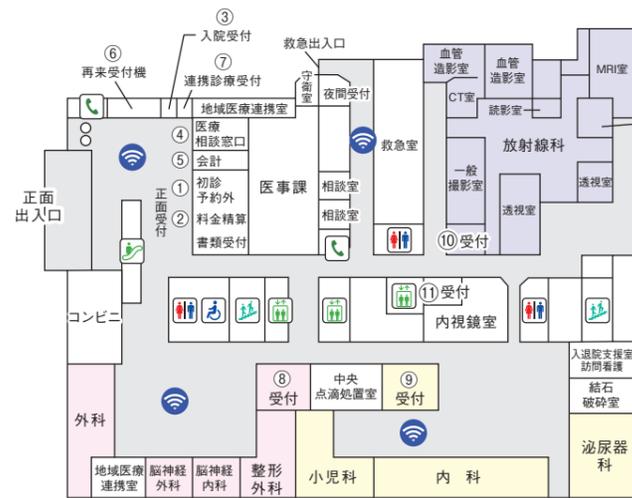
麻酔科 ..... 25

⑰ 受付 リハビリテーション科 ..... 25

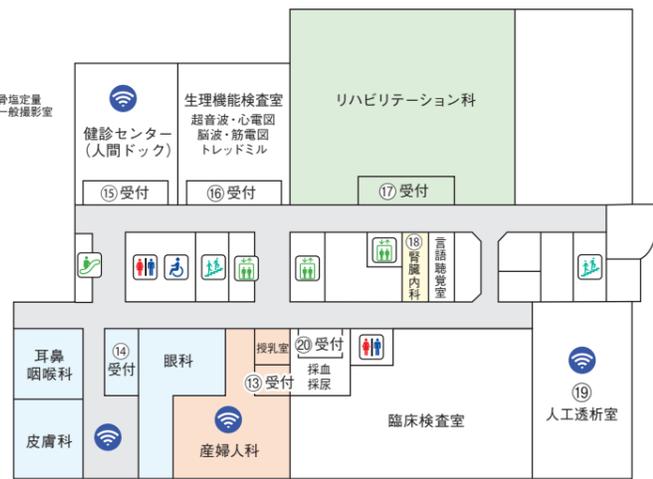
地域との連携体制について ..... 26

# 院内マップ

## 1F



## 2F



### 1F コンビニ営業時間

平日 午前8時～午後5時30分  
 土日祝 午前10時～午後3時30分

- ・外来化学療法室は地下1Fになります。
- ・当院では、一部のエリアで無線LAN(Wi-Fi)を準備しています。ご利用の際は、利用規約に同意のうえ、ご自身の責任においてご利用ください。
- ・病院敷地内は、全面禁煙です。

- トイレ
- 身障者用トイレ
- エレベーター
- 公衆電話
- エスカレーター
- Wi-Fi
- 階段

# はじめに

## 病院基本理念

地域の中核病院として、  
 信頼される良質な医療を提供し、  
 住民の健康維持・推進に貢献する

## 病院基本方針

- 地域医療支援病院としての機能や体制を整備し、質の高い地域医療を実現する。
- 地域がん診療病院、地域災害拠点病院、周産期医療2次病院としての機能を充実させる。
- 地域の医療機関や福祉・介護施設との連携を強化し、より良い地域包括ケアシステムの構築に貢献する。
- ホスピタリティの向上に努め、患者満足度の高い医療を提供する。
- 医療安全管理の徹底をはかり、安心して医療を受けられる体制を堅持する。
- 教育・研修を通じて優れた医療人を育成するとともに、各職種の連携によるチーム医療を推進し、高度な医療を提供する。
- ワークライフ・バランスを考慮した、働きがいのある職場環境づくりに努める。
- 公益性を求めつつ、長期にわたり良質な医療が提供できるよう健全な経営基盤を確立する。

## 患者さんの権利と責務

- 診断や治療方針について十分な説明を受けることができます。
- 自分の意志に基づいて医療の方法を選択することができます。
- 適切な医療を公平に受けることができます。
- 診断や治療方針について他の医療機関に意見を求めることができます(セカンドオピニオン)。
- 個人情報は十分な配慮をもって保護されます。
- 医療を受けるうえで、常に自己の尊厳性は尊重されます。
- 自分の健康情報を医療者に正確に伝える責務があります。
- 医療が安全かつ効果的に行われるよう、医療者と力を合わせて積極的に医療に参加し、協力する責務があります。
- 病院の秩序を守り、医療を受けるうえで他の患者や医療者の支障とならないよう行動する責務があります。



# 外来受診について

当院は原則、予約診療となっております。

診療科によって当日受診できない場合もありますので、予めご了承くださいませよう願いたします。

受診の際は、事前に「予約センター」でご予約をお願いいたします。

- 受診の際は保険証・各種医療証を必ずお持ちください。
- 毎月初めの受診時と、保険証に変更があった場合は診察前に受付にご提示ください。
- マイナンバーカードが保険証としてご利用いただけます。詳しくはスタッフまでお問い合わせください。

**予約センター**

 **0774-72-2314**

**受付時間 午前9時～午後4時**

## 予約のある方



## 予約のない方



当院では、初診時に他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合には、「初診時選定療養費」として5,500円(税込)のご負担をお願いしています。

また、病状が安定し、他の医療機関へ紹介させていただいた方が再び当院を受診された場合には「再診時選定療養費」として2,750円(税込)をご負担いただけます。

- 初診受付は、午前8時30分～午前11時30分までです。(診療科によって異なる場合があります)
- 診療担当医師につきましては、休診・代診等の場合もありますので、詳しくはお問い合わせください。

令和4年度の診療報酬改定に伴い、令和4年10月から、  
「初診時選定療養費」5,500円(税込)⇒7,700円(税込)  
「再診時選定療養費」2,750円(税込)⇒3,300円(税込)  
となります。

受診の際には他医療機関からの紹介状をお持ちいただきますようお願いいたします。

**休診日：土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始(12月29日～1月3日)**

※休診日は救急診療のみとなります。病状によっては対応できない場合がございますので、事前に電話連絡の上ご来院ください。

# 地域医療支援病院について

当院は、「地域医療支援病院」です。

「地域医療支援病院」とは、地域の「かかりつけ医」から紹介のあった患者さんに対する医療の提供、地域の医療機関と医療機器の共同利用、地域の医療従事者に対するスキルアップ研修の実施など、地域医療の充実を図る病院のことです。今後も引き続き、地域の皆さまに、より安心・安全な医療を提供できるよう努めていきたいと考えています。

## 連携診療を推進しています

当院では、「かかりつけ医」との連携を密にし、それぞれの特徴を活かして診療にあたることで、地域の皆様がより安心した暮らしができるようにと考えています。普段の診療は「かかりつけ医」で、必要な時はいつでも「かかりつけ医」からの紹介で当院を受診いただけます。

## かかりつけ医とは？

ご自身の日常的な診療や健康管理をしてくれる地域の医師のことです。



## かかりつけ医をもつメリットは？

- 1** 一人の医師に継続的にかかることで、ご自身の病歴や体質・生活習慣などをふまえた診療を受けることができます。
- 2** 当院受診の際に「かかりつけ医」から紹介いただくと、スムーズに検査や診察を受けていただくことができます。
- 3** 入院や検査などが必要な場合、適切な病院・診療科を紹介できます。

## かかりつけ医からの紹介状をご持参ください

当院受診の際には「かかりつけ医」からの紹介状をご持参ください。紹介状がない場合は、通常の診療費の他、初診時・再診時にかかる「選定療養費」が必要となります。

## かかりつけ医相談窓口を設けています

「かかりつけ医」を持ちたいがどうすれば良いかわからない。自宅近くで「かかりつけ医」を探したい。通院が大変になってきたので「かかりつけ医」を紹介して欲しい。など、患者さんと「かかりつけ医」を繋ぐお手伝いをさせていただきます。ご相談は、1階④医療相談窓口で承っています。

ご不明な点は、地域医療連携室までご相談ください

直通 **0774-73-1818**

# 消化器内科

必要な検査・治療を、迅速・的確・安全に!!

消化器内科の常勤4名は、全員が消化器病学会・消化器内視鏡学会専門医を取得しており、必要な検査・治療を迅速・的確・安全に行えるように日々心掛けています。

## 主な対象疾患

●上下部消化管・肝胆膵 / 腫瘍性疾患、胃潰瘍、総胆管結石、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎やクローン病）等の非腫瘍性疾患

## 診療科の特徴

病診連携、救急医療にも力を入れています。

### ●シングルバルーン内視鏡の本格導入

小腸用のシングルバルーン内視鏡購入により、これまでレンタルに頼っていた、胃術後の総胆管結石に対しても迅速に治療ができるようになりました。



シングルバルーンカテーテル

## 診療実績

治療項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
上部消化管内視鏡	3,788	3,803	3,555
食道・胃粘膜下層剥離術 ESD	59	59	37
大腸内視鏡	1,594	1,719	1,618
大腸ポリープ切除術・EMR	321	401	337
大腸粘膜下層剥離術 ESD	13	10	13
胆膵内視鏡(検査、治療の合計)	209	235	287
上下部・胆膵内視鏡総件数	5,581	5,757	5,460
経皮的肝生検	11	16	8
経皮的ラジオ波焼灼術	10	19	13
肝臓に対する血管塞栓術	13	16	19

## スタッフ紹介

**副院長 兼 消化器内科部長**  
あらい まさひろ  
**新井 正弘**  
消化器病

日本消化器病学会消化器病専門医・指導医  
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医  
日本内科学会認定内科医・指導医  
日本内科学会総合内科専門医  
日本肝臓学会肝臓専門医

**消化器内科 副部長**  
たなべ としろう  
**田辺 利朗**  
消化器病

日本消化器病学会消化器病専門医  
日本消化器内視鏡学会専門医  
日本内科学会認定内科医  
日本内科学会総合内科専門医  
日本がん治療認定医機構認定医

**消化器内科 医長**  
かわばた としひろ  
**川端 利博**  
消化器病

日本消化器病学会専門医  
日本消化器内視鏡学会専門医  
日本内科学会総合内科専門医  
日本肝臓学会肝臓専門医  
日本がん治療認定医機構認定医

**消化器内科 医長**  
かとう りゅうすけ  
**加藤 隆介**  
消化器病

日本消化器病学会専門医  
日本消化器内視鏡学会専門医  
日本内科学会総合内科専門医

# 循環器内科

命に関わる循環器疾患に対して  
ハイレベルな専門治療を行います。

病診連携を重視、普段は原則かかりつけ医に、入院必要時には速やかに紹介していただく形式。高度な集中治療や救急医療に特化。症状のない心不全・治療抵抗性高血圧・慢性腎臓病などの教育入院を含め対応します。

## 主な対象疾患

- 冠動脈疾患 / 急性心筋梗塞・不安定狭心症・冠攣縮性狭心症など
- 心不全 / 急性心不全・虚血性心不全・心筋症・心筋炎・心臓弁膜症など
- 不整脈 / 心室細動・心室頻脈・心房細動・房室ブロック・洞不全症候群など
- 肺血管・末梢血管 / 肺高血圧・閉塞性動脈硬化症・足壊疽・腎動脈狭窄症など

## 診療科の特徴

### ●急性期診療に特化

まず一番に、地域の皆様が急に生命の危機に陥った重大な時にこそ、我々がお役に立ちたいと考えています。約70年の当院の歴史の中で、新病院が完成した平成11年以降は、地域最大の循環器病の救急救命センターの役目を果たして参りました。これからもその役目をしっかりと果たすべく、より一層のスタッフや設備の充実を行って、最高の医療が提供できるように努力していく所存です。ただ、どうしても我々の医療資源にも限りがあります。そのため、地域の病院や院などの医療機関と密に連携して、通院治療は地域の医療機関で、当センターでは主として入院治療を受け持つといった共同診療を提案しています。今後当院での外来診療部門は段階的に縮小していく予定ですので、当センター通院中の患者さんにおかれましても、病状が安定された方につきましては、かかりつけ医として近隣の医療機関で通院医療を受けて頂く事のご協力をお願いいたします。尚、かかりつけ医からのご連絡があれば、何時でも当院での医療を受けて頂く事を可能とします。

### ●個別指導による包括的再発予防

我々は予防医学も重要視しています。心臓病の治療は多くの場合、過食や運動不足といった生活習慣の改善が必要です。当センターでは急性心筋梗塞で入院された方の生活習慣改善のために、循環器科医師・かかりつけ医・看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士・ソーシャルワーカーらが合同カンファレンスを行い、それぞれの専門の立場から十分議論した上で個別に指導を行います。



### ●循環器疾患への専門性の高い治療

当センターでは従来の標準的な薬物治療に加え、下記の専門的で高度とされる医療を行います。

1. 心筋梗塞・狭心症といった冠動脈疾患に対する心臓カテーテル治療
2. 足壊疽を含めた閉塞性動脈硬化症・腎動脈狭窄症・肺動脈狭窄症に対するカテーテル治療
3. 不整脈疾患に対するカテーテル治療及びペースメーカー治療
4. 心不全に対する非薬物治療

もちろん、心臓バイパス・大動脈疾患や心臓弁膜症等の外科的手術、さらに再生医療や心臓移植を必要とする病態であれば、当センターでの医療だけでは完結しませんので、大学病院等のより高度な医療機関とも連携を図って、最善の治療法が円滑に実施できる様に努めています。

### ●後遺症のない社会復帰を目指す救命救急

来院時または院外での心肺停止症例に対しては、従来から当センターでは体外循環冷却装置を用いた確実な脳低体温療法を実施する事により、後遺症なく社会復帰された症例を多数経験しています。

## スタッフ紹介

**循環器内科部長**  
とみやす きいちろう  
**富安 貴一郎**  
心不全  
カテーテル治療

**循環器内科医長**  
かさはら たける  
**笠原 武**  
循環器領域一般  
カテーテル治療

**循環器内科医員**  
やまなか りょうえつ  
**山中 亮悦**  
循環器領域一般

# 腎臓内科

慢性腎臓病は国民病です!

腎臓病は、軽微な症状で始まり、知らないあいだに進行し、気が付けば透析を受けざるを得ない状態になっていることがよくあります。腎臓病は、膠原病・リウマチ疾患、糖尿病、メタボリックシンドロームなどによく合併し、増加傾向にあります。さらに慢性に進行する慢性腎臓病（CKD：chronic kidney disease）は心血管疾患（脳卒中や心筋梗塞など）を合併する頻度が高いことが知られています。

## 主な対象疾患

### ● 検尿異常（蛋白尿や血尿など）／

腎臓病を発症している重要なサインの一つに、検尿異常（蛋白尿や血尿など）があります。検尿異常を指摘されましたら、放置せず、当科を受診してください。検尿異常の鑑別診断を行い、必要に応じて積極的に腎生検を実施して確定診断、適切な治療を行っていきます。

### ● 腎機能低下／

急激に腎機能が低下したのか（急性腎不全）、あるいは徐々に腎機能が低下したのか（慢性腎不全）を鑑別、その原因の精査を行い、適切な治療を行います。慢性腎不全の場合、その進行の抑制をめざして教育入院を行います。

### ● 透析合併症治療／

様々な透析合併症に対し、合併症治療担当科と協力して診療に当たります。

## 診療科の特徴

### ● 腎臓病の早期診断・治療

当院腎臓内科では、軽度の検尿異常や腎機能障害に対し積極的に腎生検を行い、早期に腎臓病的な診断をして治療を開始し、腎臓病の進行抑制・寛解導入を目指しております。

### ● 慢性腎臓病の検査教育入院

保存期の慢性腎不全の患者さんを対象に「慢性腎臓病検査教育入院」を行い、管理栄養士、薬剤師、検査技師、および看護師と共にチーム医療として慢性腎臓病およびその合併症の進行を阻止すべく腎臓病診療にあたらせていただいております。

## スタッフ紹介



人工透析部長 兼  
腎臓内科部長  
なかたに きみひこ  
**中谷 公彦**  
腎臓内科・腎不全  
膠原病・リウマチ



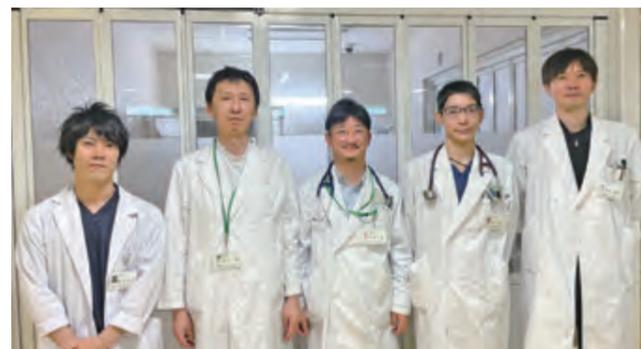
腎臓内科  
副部長  
あさい おさむ  
**浅井 修**  
腎臓内科・腎不全



腎臓内科  
医員  
さわい しんじ  
**澤井 慎二**  
腎臓内科・腎不全



腎臓内科  
医員  
たなか ひさや  
**田中 寿弥**  
腎臓内科・腎不全



### ● ネフローゼ症候群／

原因（一次性腎炎や二次性腎炎など）の鑑別診断、腎生検などで確定診断を行い、適切な治療を選択・実施します。当科では副腎皮質ステロイドホルモンによる治療に加え、免疫抑制薬、さらには LDL-アフェレシスなどの特殊治療など色々な選択肢の中から最良の治療を選択します。

### ● 腎代替療法／

慢性腎不全に対する保存的治療の限界と判断された場合は、すみやかに腎代替療法への移行を考慮します。具体的には血液透析、腹膜透析、腎移植を選択していただきます（当院では腎移植を行うことができませんので、希望される方がおられれば、他施設へ紹介致します）。

### ● 電解質異常／

ナトリウム、カリウムなどの電解質異常は早期の鑑別診断と治療が必要となります。特に、カルシウム異常は背景に何らかの疾患が存在することが多く、高カルシウム血症の場合は緊急の治療が必要です。

### ● 腎代替療法の選択・導入

末期腎不全に陥った場合は、腎代替療法の選択・導入（腹膜透析・血液透析）とその後の管理を行います。当科では、血液透析を選択された場合は内シャント増設術や動脈表在化術などバスキュラーアクセスの作成を、腹膜透析を選択された場合は腹膜透析カテーテルの腹腔内留置術を行っております。また人工透析室では月から土まで 25 ベッドで血液透析を行っており、地域の基幹病院として、さらには高次機能をもつ総合医療センターとして各科の医師と連携して種々の血液浄化治療も行っております。

# 糖尿病・代謝内科

元気に生きるために、  
日々の生活習慣を見直そう。

糖尿病性合併症の管理・治療及び「がん」の早期発見・早期治療に対応するため、内科・外科など各部門とグループ診療を行い、テーラーメイド治療を目指しています。

## 主な対象疾患

### ● 1型糖尿病／

インスリン治療を必要とします。最近、激症1型糖尿病（1週間以内に発病。口渇・多飲・多尿などの症状がでる）も散見されます。

### ● 糖尿病妊娠／ 妊娠前からの体重・血糖管理・合併症の評価が大切です。

### ● 妊娠糖尿病／ 妊娠したら糖尿病になっていないかを確認しましょう。

### ● バセドウ病／ 眼球突出のない人でもイライラ、頻脈、発汗など。

### ● 2型糖尿病／

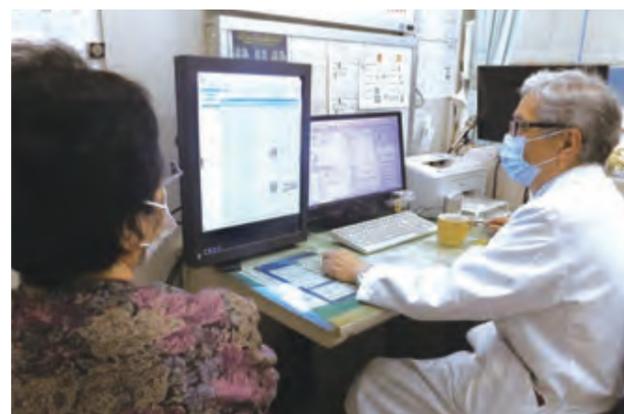
糖尿病の90%以上。家族歴のない方や20歳代の方も増えています。

### ● 橋本病／

甲状腺が腫れていなくても、検査でわかります。妊婦・高齢者は一度検査を。（下垂体性甲状腺機能低下症：妊婦さんなどで稀に認められます。検査でわかります。）

## 診療科の特徴

糖尿病に関して、最近は情報過多で間違った食事や運動を開始している患者さんが初診時に判明することがあります。個々の患者さんの背景（年齢、性別、合併症の有無と程度・家庭環境）を適切に評価し、その人にあったテーラーメイド指導・治療を行っています。また、「元気に楽しく人生を過ごしてもらおう」ように取り組んでいます。



管理栄養士による栄養指導を行っています

## スタッフ紹介



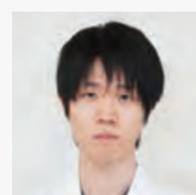
糖尿病・  
代謝内科部長  
つつみ たけし  
**堤 丈士**  
糖尿病専門医  
糖尿病・内分泌



糖尿病・  
代謝内科副部長  
かどの まゆこ  
**門野 真由子**  
糖尿病・内分泌



糖尿病・  
代謝内科医員  
なかの こうじ  
**中埜 幸治**  
糖尿病・内分泌専門医



糖尿病・  
代謝内科医員  
もとぶ たくま  
**本塚 卓**  
糖尿病・内分泌



糖尿病・  
代謝内科医員  
いino たくや  
**飯尾 卓哉**  
糖尿病・内分泌

（非常勤）  
せきおか りさ  
**関岡 理沙**  
糖尿病・内分泌

# リウマチ科

京都南部のリウマチ・膠原病疾患の中核病院として地域に密着した診療を行います。

リウマチ科

専門科を持つ病院が少ないリウマチ・膠原病分野でリウマチ学会認定専門医が各科と連携を取りながら専門的な医療を行います。

## 主な対象疾患

- 関節リウマチ
- 悪性関節リウマチ
- 全身性エリテマトーデス
- 抗リン脂質抗体症候群
- シェーグレン症候群
- 強皮症
- 皮膚筋炎
- 多発性筋炎
- 壊死性筋炎
- 成人発症スティル病
- リウマチ性多発筋痛症
- 混合性結合組織病
- 血管炎 / ANCA 関連血管炎、大動脈炎症候群、巨細胞性動脈炎、多発血管炎性肉芽腫症など
- 脊椎関節炎 / 強直性脊椎炎、乾癬性関節炎など
- ベーチェット病
- 再発性多発軟骨炎などのリウマチ性疾患
- 膠原病疾患
- 炎症性疾患

## 診療科の特徴

リウマチ・膠原病分野は難病指定を受けている疾患も多く、希少疾患も多いため専門施設が少なく通院先に困られている患者さんが多く、生物学的製剤、免疫抑制剤など治療が大きな転換期を迎えている分野です。当院では京都府南部の中核病院としてリウマチ学会認定専門医による専門的かつ地域に密着した治療を目指しています。



関節エコー検査



点滴の生物学的製剤投与を受けていただく外来化学療法室です

## 診療実績(令和3年度)

リウマチ性疾患 約 450 名、膠原病疾患 約 120 名。

## スタッフ紹介



リウマチ科部長

むらかみ けん  
村上 憲

リウマチ・膠原病  
日本リウマチ学会リウマチ専門医



リウマチ科医員

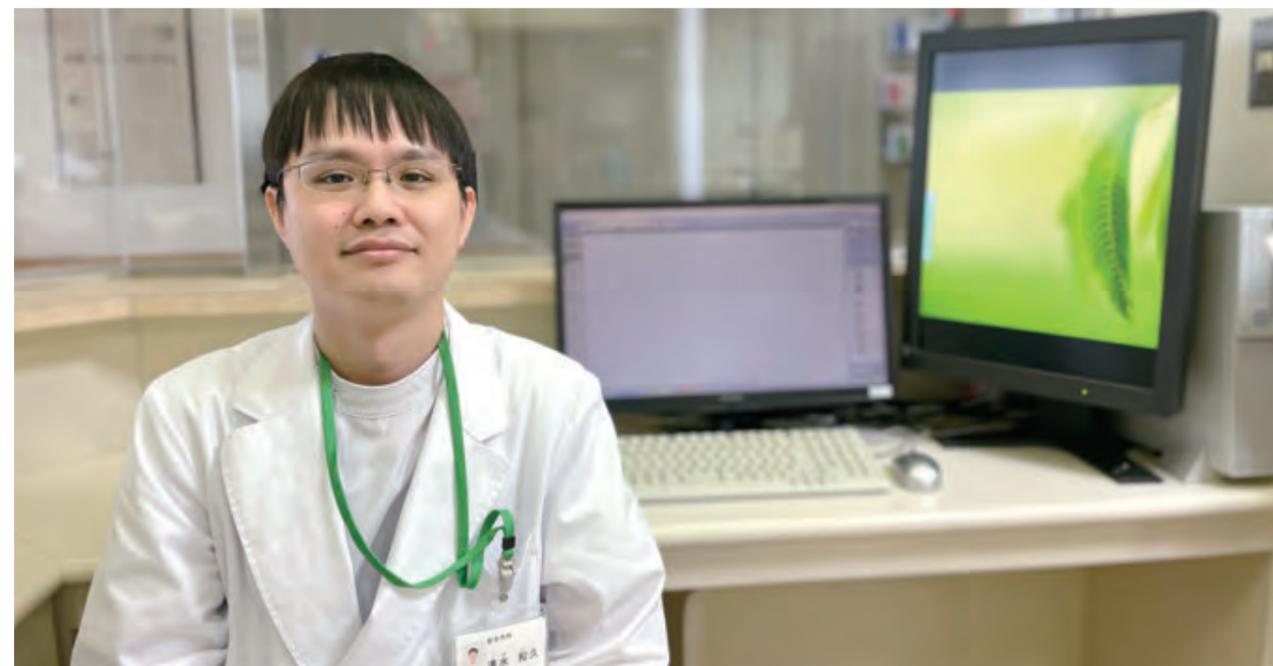
ふじえだ しゅんすけ  
藤枝 俊輔

リウマチ・膠原病

# 総合内科

内科疾患全般を幅広く診察しております。

総合内科



お困りのことがあればご相談ください。

## 主な対象疾患

- 一般内科疾患 / 肺炎、尿路感染症、胃腸炎、蜂窩織炎などを診断し治療を行います。
- 不明熱 / 通常の検査では原因のはっきりしない発熱患者さんを診察します。
- 高齢者 / 誤嚥性肺炎などの疾患に加えて、脱水症・食欲不振・せん妄など頻繁にみられる症状に対応し、治療に当たります。

## 診療科の特徴

総合内科は臓器にとらわれず全般的な診断・治療をおこないます。内科疾患全般が含まれますが、特に以下のようなときにご相談いただければ幸いです。

- ・病態が複雑で、診断に困る場合の鑑別診断
- ・発熱などの急性疾患の初期対応
- ・高齢で入退院を繰り返しており、体力が落ちて自宅での療養が困難となり退院調整を必要とする場合

診断・治療にあたっては各専門診療科とも連携し、またより高度な医療が必要であると判断した場合は高次病院への紹介を行います。病気だけでなく、人を診る医療を心がけていきますので、よろしくお願いたします。

## スタッフ紹介



内科医員

しみず わく  
清水 和久

日本内科学会内科専門医

# 小児科

小児科医は『こどもの総合医』です。何でもご相談ください。

小児科

京都府南部の中核病院小児科として、近隣機関と連携し、赤ちゃんから思春期への成長発達を見守る拠り所を目指します。

## 主な対象疾患

- 感染症** / 呼吸器・消化管感染症、尿路感染症、中枢神経感染症、など
- 神経・発達** / てんかんなどの発作性疾患、頭痛、先天異常、発達遅滞、重症心身障害、など
- 血液・免疫** / 貧血、血小板減少症、免疫不全、リウマチ性疾患、膠原病、炎症性腸疾患など
- アレルギー** / 食物アレルギー、気管支喘息、など
- 循環器** / 先天性心疾患、川崎病、不整脈など
- 腎臓** / ネフローゼ、慢性腎炎、尿路感染症、腎尿路奇形
- 新生児** / 早産児(在胎 34 週・1500g 以上)、新生児呼吸障害、黄疸、など
- 内分泌・代謝** / 低身長、思春期早発症、先天代謝異常症、糖尿病、肥満、など
- 心身症** / 起立性調節障害、過敏性腸症候群、頭痛、など

## 診療科の特徴

### ●外来診療

午前一般外来では、十分な感染対策のもと、発熱・咳嗽・下痢嘔吐、などを主訴とする急性感染症の診療にあたるほか、種々の慢性疾患に対する初期診療も行います。木津川市在住の方については、乳児個別健診(月・金)を当院で受けて頂くことも可能です。

午後の専門外来(予約制)では、アレルギー(月・火・隔週木)/腎(火)/循環器(火)/神経・発達(木)/内分泌・代謝(金・隔週木)、の幅広い領域をカバーしています。また、基礎疾患を有する小児に対する専門的予防接種(月・水)、公認心理師と連携した心身症の診察・カウンセリング(月午後)も行っています。今後、子育て支援や発達障害診療についても市町村と連携し積極的に関与してゆく予定です。



### ●救急診療

日曜祝日(終日)および木曜(夜間)は、山城南医療圏の輪番担当として小児科医が救急対応しています。その他の平日夜間についても、近隣診療所からの入院を要するお子さんの紹介があれば受け入れています。

### ●入院診療

外来・救急・紹介患者さん、また、院内出生のうち早産の赤ちゃんなどを含め、年間入院件数は500件程です。遠方の専門医療機関で治療されたお子さんの回復期の転院先としても対応しています。また、食物アレルギー負荷試験や成長ホルモン分泌刺激負荷試験、鎮静剤使用下でのMRI撮像、等、検査目的の短期・日帰り入院も行っています。

## スタッフ紹介



小児科主任部長

ないとう たけし  
**内藤 岳史**

小児科全般  
神経・発達



小児科副部長

いずみ もりあつ  
**和泉 守篤**

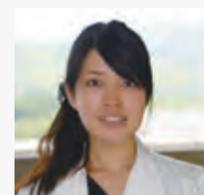
小児科全般・新生児  
アレルギー・漢方

(非常勤)  
すぎもと さとる  
**杉本 哲**  
小児内分泌・代謝

(非常勤)  
もりもと ひでちか  
**森元 英周**  
小児内分泌・代謝

(非常勤)  
にしだ のぞみ  
**西田 望**  
小児内分泌・代謝

(非常勤)  
おおや さとる  
**大矢 暁**  
腎疾患



小児科医員

まさき あやか  
**正木 綾香**

小児科全般  
腎疾患・予防接種



小児科医員

もりした ゆうま  
**森下 祐馬**

小児科全般  
小児循環器



小児科医員

ちはら たかよ  
**千原 貴世**

小児科全般  
アレルギー・発達障害

# 泌尿器科

京都南部地域で頼られる泌尿器科を目指して  
日夜励んでおります。

泌尿器科

大学病院と連携し、最新、最適な医療を提供します。

## 主な対象疾患

- 癌** / 腎臓・膀胱・前立腺・精巣
- 尿路結石** / 腎臓・尿管・膀胱
- 炎症性疾患**・前立腺肥大症・過活動膀胱 / 排尿障害など

## 診療科の特徴

当院の泌尿器科は主に泌尿器外科を行い、内科的腎疾患や透析に関しては腎臓内科が担当しています。

扱う臓器は、腎・尿管・膀胱・尿道といった尿路臓器、精巣・前立腺などの男性性器、副腎などの内分泌臓器があり、疾患としては、癌・結石・炎症疾患などがあげられます。現在、日本泌尿器科学会教育基幹施設に認定されており、専門医の育成も行っています。

また、治療は本邦や欧米の泌尿器科学会のガイドラインに則り、最新かつ標準治療を提案するようにしています。京都府立医科大学泌尿器科とも密に連絡を取り、多くの泌尿器科医の意見を取り入れながら治療方針を決定しています。

癌に関しては開腹手術による腎摘除術、膀胱全摘除術、前立腺全摘除術はもとより、低侵襲治療として膀胱癌に対する内視鏡手術や抗がん剤治療、動注化学療法、さらに腎癌や腎盂尿管癌に対する腹腔鏡手術、分子標的治療、抗がん剤治療も行っています。また最近の治療のトレンドでもあるロボット支援手術や癌の局所療法も、希望される場合は京都府立医科大学と連携を取り、治療を行えるよう斡旋しています。前立腺癌に対する内分泌療法や抗癌剤治療も行っています。

結石に対しての治療は体外衝撃波結石破碎術だけでなく、経尿道的尿路結石摘除術(TUL, f-TUL)も行っています。さらに前立腺肥大症や排尿機能障害に対しての内服治療や内視鏡治療のように、低侵襲治療も患者さんと相談しながら積極的に行っています。



## スタッフ紹介



泌尿器科部長

まつばら ひろき  
**松原 弘樹**

日本泌尿器科学会専門医  
日本泌尿器科学会指導医  
がん治療認定医  
泌尿器腹腔鏡技術認定医



泌尿器科医員

むらした じゅんき  
**村下 純輝**

日本泌尿器科学会専門医

# 脳神経内科

地域の脳神経疾患の問題に全力で対応します。

## 主な対象疾患

- 脳梗塞** / 脳卒中といわれる一群の疾患で、手足の麻痺や呂律が回らないといった症状が突然出現します。可能な限り速やかに受診されることをお勧めします。脳梗塞の一部では、条件が整えば血栓溶解療法が行えることがあります。また、早期に治療およびリハビリテーションを開始することにより、後遺障害の軽減が期待できます。
- てんかん** / 突然意識を失う、手足に痙攣が生じるなどの症状が繰り返し起こる疾患です。適切な治療を受けることで再発を予防できます。

- パーキンソン病** / 動作が遅くなる、手足が震えるなどの症状が徐々に悪化する脳の疾患です。
- 認知症** / 脳の機能低下により記憶力をはじめとした高次脳機能が低下し、社会生活や日常生活が不自由になる疾患です。アルツハイマー型認知症、血管性認知症などがあります。
- 頭痛** / 片頭痛、群発頭痛、緊張型頭痛、薬物乱用頭痛などがあり、診断を的確に行うことにより、有効な治療が行えます。

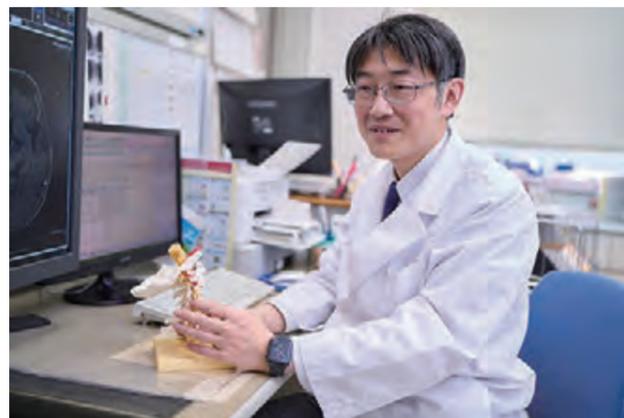
## 診療科の特徴

脳神経内科は、脳・脊髄などの中枢神経系、末梢神経系、筋肉に関連する幅広い疾患を扱います。パーキンソン病や脊髄小脳変性症などの難病だけでなく、頭痛・しびれ・めまいなどの日常的にみられる疾患にも対応しています。超高齢社会に入り、急性疾患では脳梗塞、慢性疾患では認知症が増加し、脳神経内科の需要がますます高まっています。

疾患の特性と原因を特定するために、脳神経内科は、問診と診察を重要視し、一人一人の診察に十分な時間をいただいています。

### ●静注血栓溶解(rt-PA)療法

発症間もない超急性期脳梗塞に対して、詰まった血栓を溶解して脳動脈を再開させる点滴治療です。当院は一次脳卒中センターに施設認定され、救急搬送された脳梗塞症例に対して血栓溶解療法を含む速やかな治療体制を構築しています。



## スタッフ紹介

**院長**  
いわた かずひで  
**岩本 一秀**  
神経疾患全般  
認知症

日本神経学会神経内科専門医・指導医  
日本内科学会認定医/総合内科専門医  
日本脳卒中学会脳卒中専門医  
日本臨床神経生理学会指定認定医  
日本医師会産業医

**脳神経内科部長**  
おおしま よういち  
**大島 洋一**  
神経疾患全般  
認知症

日本神経学会神経内科専門医・指導医  
日本内科学会認定医/総合内科専門医  
日本脳卒中学会脳卒中専門医  
日本認知症学会認定専門医・指導医

**脳神経内科医員**  
うえた てつひろ  
**上田 哲大**  
神経疾患全般

日本神経学会神経内科専門医  
日本内科学会認定医

**脳神経内科医員**  
よした まいか  
**吉田 舞花**  
神経疾患全般

(非常勤)  
こいずみひでたか  
**小泉 英貴**  
神経疾患全般

(非常勤)  
まつおか ちひろ  
**松岡 千紘**  
神経疾患全般

# 呼吸器外科

肺癌、転移性肺腫瘍、気胸などの呼吸器領域の外科治療を行っています。的確な術前診断を行い、低侵襲で安全かつ確実な手術を行います。

不安なこと、聞きたいことがありましたら、納得いくまで説明いたします。

## 主な対象疾患

- 肺癌** / 肺癌の手術治療、手術後の補助化学療法
- 気胸** / 自然気胸に対する手術治療
- 縦郭腫瘍** / 胸腺腫、胸腺癌、神経鞘腫、奇形腫などの手術治療
- 転移性肺腫瘍** / 大腸癌・直腸癌、腎癌などの肺転移に対する手術治療

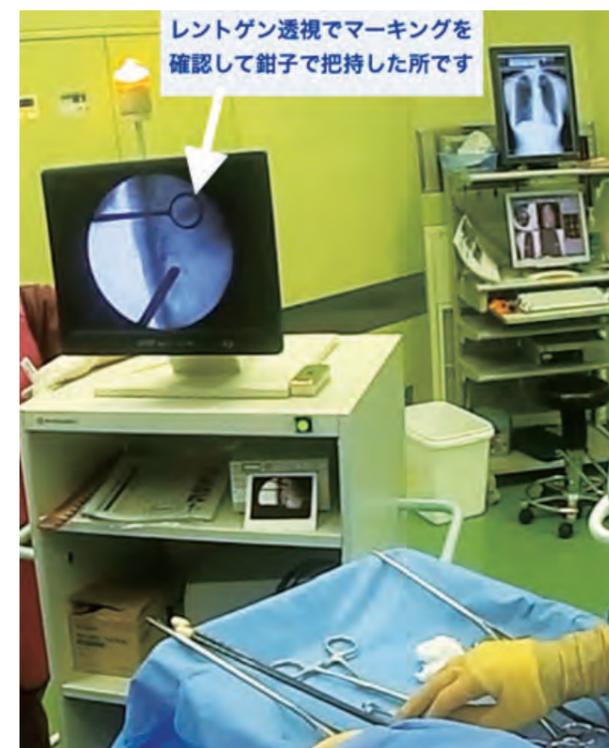


## 診療科の特徴

当院での呼吸器外科手術の特徴は、微小な肺腫瘍に対する術前マーキングを併用した胸腔鏡手術です。近年、胸部CTの普及により、胸部レントゲンでは指摘できないような小さな影が見つかるようになりました。小さい陰影は、従来の検査法（気管支鏡、針生検など）では確定診断を得られないことが多いです。しかしながら、悪性を疑う陰影を経過観察し、大きくなってから手術していたのでは、小さく見つかったメリットがありません。小さく見つけて小さく手術することで、早期に肺癌を治療できると考えています。

手術前にCTで確認しながら、細い針を刺して目的の陰影の近くまで進めます。微量の造影剤を注入してマーキングとします。手術中に、レントゲンを利用してマーキングを確認し、微小腫瘍を含むようにして切除します。肺癌・転移性肺腫瘍・気胸などの呼吸器外科の手術は、ほぼ全症例で内視鏡手術を行っています。2cm程度の小さな傷を2カ所、わきの下に4~8cm程度の傷を1カ所の合計3カ所の傷で手術を行っています。

気胸の手術では、さらに低侵襲な1カ所の創で行う手術をはじめめています。手術後の痛みはさらに軽減しています。



## スタッフ紹介

**呼吸器外科部長**  
いとう かずひろ  
**伊藤 和弘**  
日本呼吸器外科学会専門医

(非常勤)  
いしはらしゅんた  
**石原 駿太**

# 消化器外科

消化器癌の外科治療。

消化器外科では消化器癌の治療が中心です。消化器癌の外科治療を最大の使命と捉え、十分なインフォームドコンセントのもと、手術成績の向上に努力しています。疑問点や相談があれば、何なりと気軽に相談してください。

## 主な対象疾患

- 消化器癌 / 胃癌・大腸癌・肝癌・膵癌など
- 良性疾患 / 胆石症・鼠径ヘルニアなど
- 急性腹症 / 急性虫垂炎・腹膜炎など

## 診療科の特徴

当院は地域がん診療病院に指定されており、地域がん診療の拠点としての体制を整えております。消化器領域の癌治療に関しても消化器内科、放射線科と連携し、その時点で最適かつ標準的な外科的癌治療を行っております。また、術前や術後の補助化学療法を含めて治療を一元的に行っております。それぞれの消化器癌に対して、基本的には学会の指針やガイドラインに基づいた治療法を選択します。しかし、症例によっては患者さんの状態や要望にそった形のオーダーメイド治療にも可能な範囲で対応いたします。

昨今、外科手術の領域では整容性と術後の回復の早さから、腹腔鏡手術が急速に広がっています。当科でも、知識と技術の研鑽をすすめ積極的に腹腔鏡手術を取り入れており、胃癌、大腸癌、鼠径ヘルニア等の手術に活かしています。緩和ケア治療に関しても多職種と連携した医療チームと協力して行っています。

## 診療実績

治療項目	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	手術数	腹腔鏡手術	手術数	腹腔鏡手術	手術数	腹腔鏡手術	手術数	腹腔鏡手術	手術数	腹腔鏡手術
胃癌	27	22	16	11	16	13	15	12	19	12
結腸癌	39	34	30	21	39	37	24	18	37	34
直腸癌	15	15	8	8	12	12	18	17	23	22
肝悪性腫瘍	3	0	4	0	3	0	4	0	1	0
胆道・膵癌(膵頭十二指腸切除)	5	0	4	0	5	0	2	0	4	0
虫垂炎(小児除く)	32	32	23	23	24	23	19	18	22	22
胆石症	60	54	35	35	45	39	35	34	39	38
鼠径ヘルニア(小児除く)	68	25	79	48	77	53	85	54	63	45

## スタッフ紹介



副院長  
やまくち あきひろ  
**山口 明浩**  
消化器外科

日本外科学会専門医・指導医  
日本消化器外科学会専門医・指導医  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医  
日本緩和医療学会認定医  
日本救急医学会専門医  
日本化学療法学会抗菌化学療法指導医



消化器外科  
部長  
なかた まさし  
**中田 雅支**  
外科

日本外科学会認定医・専門医・指導医  
日本消化器外科学会  
認定医・専門医・指導医  
日本消化器外科学会  
消化器がん外科治療認定医



消化器外科  
副部長  
かしわの きんご  
**柏本 錦吾**  
外科

日本外科学会専門医  
日本消化器外科学会専門医  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医  
日本消化器外科学会  
消化器がん外科治療認定医



消化器外科  
医長  
はらだ きょういち  
**原田 恭一**  
消化器外科

日本外科学会専門医  
日本消化器外科学会専門医  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医  
日本消化器外科学会  
消化器がん外科治療認定医

# 乳腺外科

確かな診断・適切な治療を目指しています。

心地よく受診していただけるよう、「明るい診察室」を心がけております。

## 主な対象疾患

- 乳腺疾患 / 乳癌、その他の乳腺疾患

## 診療科の特徴

- 乳腺の診療では、日本乳癌学会の標準治療ガイドライン(科学的根拠に基づいた現時点での最善の治療)の実践を目指します。
- 現在、完全予約診療となっております。
- 女性医師・女性技師による診療を選択していただけます。

## 診療実績

治療項目	令和3年度
乳がん手術	46
良性腫瘍手術	8
その他手術	4

## スタッフ紹介



乳腺外科部長  
まつだ たかゆき  
**松田 高幸**

乳腺外科  
日本外科学会専門医  
日本乳癌学会乳腺認定医・専門医



乳腺外科医員  
にしむら まりあ  
**西村 真里愛**

乳腺外科

(非常勤)  
まつい ともや  
**松井 智也**

# 小児外科

地域に密着した小児外科医療の提供を目指しています。  
親御さんに寄り添って、お子さんの治療を行います。

お子さんの便秘について気軽にご相談ください。

## 主な対象疾患

- 正中頸嚢胞
- 虫垂炎
- Meckel 憩室
- 陰嚢水腫
- 移動性精巣
- 便秘症
- 漏斗胸
- 腸重積
- 臍ヘルニア鼠径ヘルニア
- 停留精巣
- 包茎
- 外傷

## 診療科の特徴

0～15歳までのお子さんの手術が必要な病気の治療を行う診療科です。小児科・外科・産婦人科・泌尿器科の医師と連携して治療を行います。小児外科特有の疾患や重症心身症の患者様に関しては小児期以降でも治療・管理を行います。稀な疾患や高度な検査や治療を要する場合、京都府立医科大学小児外科学教室と連携して対応致します。

- 腹腔鏡下鼠蹊ヘルニア根治術(LPEC法)
- 整容面(見た目)にこだわった手術
- 小児慢性便秘に対する排便管理

## 診療実績

治療項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ヘルニア関連手術	13	13	14
精巣固定術	11	9	12
虫垂炎手術	5	2	5

## スタッフ紹介



小児外科医長  
ふくなが けんじ  
**福永 健治**  
直腸肛門奇形・排便管理  
日本小児外科学会小児外科専門医

# 整形外科

整形外科として広く認められる標準的な治療を心がけています。  
手術療法および保存療法について患者様の意志を尊重し決定します。

若年者から高齢者まで幅広い整形外科疾患に対応します。手術に関しては、専門分野にしている脊椎脊髄外科疾患をはじめ、手術の低侵襲化に取り組んでおり、入院期間の短縮・早期社会復帰を目指しています。

## 主な対象疾患

- 骨折 / 骨折の部位や転位の程度によって治療法を選択します。
- 頸椎症性脊髄症 / 加齢による頸椎の変性や変形によって脊椎管が狭くなることで脊髄が圧迫を受けます。しびれなどの知覚障害や、字が書きにくい、箸が持てない、歩きづらなどの運動障害を生じます。
- 腰部椎管狭窄症 / 下肢の痛みによる歩行障害、場合によっては残尿・尿漏れなどの排尿障害を生じることがあります。
- 変形性膝関節症 / 関節軟骨の変性によって歩行時の関節痛を生じます。
- 骨粗鬆症 / 骨密度の低下によって脊椎圧迫骨折を生じ、寝たきりになる場合があります。
- 肩関節周囲炎 / 肩関節の痛みと可動域制限を認めます。

## 診療科の特徴

整形外科では骨、関節、筋肉、神経など運動器と呼ばれる臓器を対象としています。具体的には、四肢や脊椎外傷、慢性的な痛みや変形、運動機能障害などを診療しています。手術は、高齢者の大腿骨骨折や交通・労災事故による四肢骨折に対する骨接合術、脊椎手術、人工関節手術を行っています。術後はスムーズにリハビリテーションを開始できるように、術前よりリハビリ療法士が介入します。カンファレンスを通して医療スタッフと問題点を共有し、チームとして機能障害の改善を目標に努力しています。

- 腰部椎管狭窄症に対して顕微鏡視下で行う低侵襲除圧術(筋肉温存型腰椎椎弓間除圧術)
- 脊椎固定術時に正確にスクリュー挿入を行うための脊椎ナビゲーション手術
- 脊椎圧迫骨折に対する経皮的椎体形成術(BKP)
- 神経に直接侵襲を加えず脊椎の変形矯正を行う側方進入腰椎固定術(OLIF)



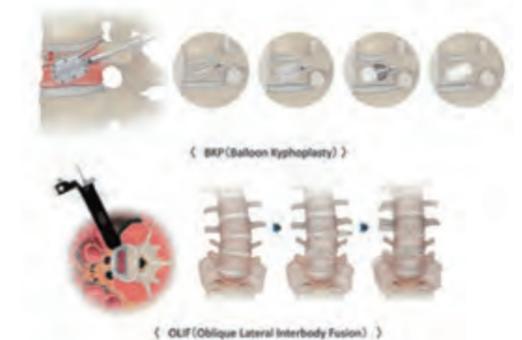
顕微鏡下手術



脊椎ナビゲーションシステム

## 診療実績(常勤2人体制以降)

治療項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総件数	270	294	337	304	269
骨折	117	144	166	146	141
脊椎	57	54	60	66	62
人工関節	18	17	16	8	12
その他	78	79	95	84	54



## スタッフ紹介



整形外科副部長 兼  
リハビリテーション科部長  
みずの けんたろう  
**水野 健太郎**  
整形外科一般・脊椎脊髄疾患

日本整形外科学会専門医  
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医  
日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科指導医・専門医  
医学博士



整形外科医員  
いらい ひろゆき  
**岩井 宏之**  
整形外科一般・脊椎脊髄疾患

日本整形外科学会専門医

(非常勤)  
やまさき たかひと  
**山崎 隆仁**

(非常勤)  
こばやし ゆみこ  
**小林 裕美子**

# 脳神経外科

「的確な治療を迅速に」をモットーに診療を行っています。

脳神経外科



京都市立医科大学附属病院脳神経外科教室ならびに当院脳神経内科との連携を行い、当医療圏唯一の脳神経外科として、質の高い医療を提供することを目指しています。

## 主な対象疾患

- **脳腫瘍** / 神経膠腫、髄膜種、聴神経鞘腫、悪性リンパ腫など
- **脳血管障害** / クモ膜下出血、脳動脈瘤、脳出血、脳梗塞、頸動脈狭窄症など
- **頭部外傷** / 硬膜外血腫、硬膜下血腫、脳挫傷、頭蓋骨折など
- **機能的疾患** / 正常圧水頭症、三叉神経痛、顔面けいれんなど
- **感染症** / 脳膿瘍、硬膜下膿瘍など

## 診療科の特徴

常勤の脳神経外科専門医2名を中心に、緊急疾患にも対応しております。治療については患者さん・ご家族へ、十分に説明及び相談をさせていただいた上で方針を決定しています。

## スタッフ紹介



脳神経外科部長  
いわた よしひろ  
**岩本 芳浩**  
脳神経外科全般

医学博士  
日本脳神経外科学会専門医指導医  
日本脳卒中学会専門医指導医  
日本脳卒中の外科学会技術指導医  
日本救急医学会専門医  
京都市立医科大学臨床教授



脳神経外科副部長  
ふじた ともあき  
**藤田 智昭**  
脳神経外科全般

日本脳神経外科学会専門医指導医  
日本脳神経外傷学会認定指導医  
日本脊髄外科学会指導医  
日本脳卒中学会専門医指導医

(非常勤)  
まるやま だいすけ  
**丸山 大輔**

(非常勤)  
ごとう ゆうだい  
**後藤 雄大**

# 放射線科

治療方針の決定に結びつく、質の高い画像診断を心がけています。

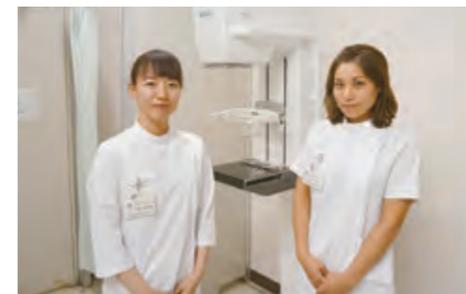
放射線科



最先端の画像診断装置を用いて、最高の画像を提供します。からだに負担がかからない、優しい検査を心がけています。

## 診療科の特徴

- 4名の常勤医(うち3名が専門医)による質の高い診断と治療を行っています。
- マルチスライスCTを用いて、3次元画像を作成することにより、精密な診断を行っています。心臓CTに関しては、全国的に見ても豊富な経験と症例数を有しています。
- 1.5テスラMRIは、全身の精密な検査が可能です。撮影時の機械音が静かで、快適に検査が受けられます。
- 地域の医療機関からの紹介で、CTやMRIなどの検査を行っています。
- IVRの分野では、他科に入院中の患者さんの癌に対する動注治療、透析シャントの閉塞に対する治療、膿瘍ドレナージ、CTガイド下生検などを行っています。



## スタッフ紹介



副院長 兼  
放射線科部長  
いしはら きよし  
**石原 潔**  
画像診断



放射線科副部長  
いとう たかあき  
**伊藤 誠明**  
IVR画像診断



放射線科医長  
あいた かずやす  
**会田 和泰**  
IVR画像診断



放射線科医員  
うすい さえこ  
**白井 紗英子**

# 産婦人科

産婦人科

地域に密着した産婦人科として女性のQOL向上のために治療を行っていきます。

当院は京都府内で地域周産期センターに指定されており、総合病院の良さを生かして妊婦さんの安心、安全な分娩ができるよう努めています。思春期から更年期、老年期までの女性に対応し、薬物療法や手術療法などその方にとって最適な治療を選択していきます。



## 主な対象疾患

- 周産期 / 正常妊娠、分娩、双胎、切迫流早産や妊娠高血圧症など合併症妊娠
- 腫瘍 / 子宮筋腫などの良性腫瘍や悪性腫瘍の診断、薬物療法、手術
- 女性ヘルスケア / 月経異常、更年期障害、骨盤臓器脱(子宮脱)、不妊相談
- その他 / 子宮がん検診(二次検診)、HPVワクチン相談、性感染症

## 診療科の特徴

妊娠中から分娩、産後まで医師、助産師、看護師の共同管理により安全で安心感のある良質な医療の提供を心がけています。帝王切開術での分娩時にも小児科医、麻酔科医との連携を取りながら十分な管理体制を維持しています。婦人科疾患については薬物療法、手術療法などその方にとって最適な治療法を選択するように心がけています。手術に関しても内視鏡手術(腹腔鏡・子宮鏡)、開腹手術、膣式手術を検討し、より低侵襲な手術を行っています。また病気を未然に防ぎ、女性の健康増進を目指したいという思いから、婦人科がん検診も積極的に行い、思春期から更年期、老年期の女性のヘルスケアにも力を入れています。



## スタッフ紹介

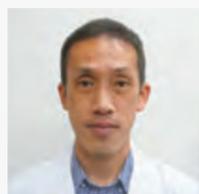


産婦人科部長

きたおか ゆい  
**北岡 由衣**

周産期  
女性ヘルスケア  
内視鏡手術

日本産科婦人科学会専門医・指導医  
日本女性医学会女性ヘルスケア専門医  
母体保護法指定医師

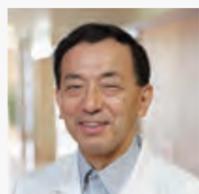


産婦人科副部長

きし ようへい  
**貴志 洋平**

内視鏡手術  
子宮内膜症  
周産期

日本産科婦人科学会専門医  
日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医



産婦人科医員

さわだ しげなり  
**澤田 重成**

周産期  
腫瘍全般  
膣式手術

日本産科婦人科学会専門医



産婦人科医員

いわた あきか  
**岩田 秋香**

産婦人科一般



産婦人科医員

やまうち さいこ  
**山内 彩子**

産婦人科一般

# 眼科

眼科疾患を確実に診断し、安全に治療を行うことを目指しています。

眼科

白内障、緑内障、網膜疾患、眼瞼疾患などの眼科疾患について、診断治療を行っています。

## 主な対象疾患

- 眼瞼疾患 / 神眼瞼下垂や内反症など
- 前眼部疾患 / 結膜炎、角膜炎など
- 白内障
- 緑内障
- 網膜疾患 / 糖尿病網膜症、網膜静脈閉塞症、黄斑変性など
- 小児眼科疾患 / 斜視、弱視など



一般眼科疾患の診断、治療を行っています。手術治療については白内障手術が最も多く、基本的に無縫合小切開手術を施行しています。また眼瞼手術なども行っており、網膜硝子体手術については、京都府立医科大学附属病院などの専門外来に紹介し、連携して治療を行っています。また抗VEGF抗体硝子体注射、トリアムシロンのテノン嚢下注射などの処置、レーザー治療なども行っています。

## 診療科の特徴

眼科では診断、治療を行うために、様々な精密機器を使用しています。検査機器としては、OCT(眼底三次元解析装置)、IOLマスター(光学的眼軸長測定装置)、超音波Aモード・Bモード測定装置、眼底カメラ、皮膚電極ERG、スペキュラーマイクロスコープ、角膜形状解析装置、オートレフラクトメーター、ノンコンタクトトノメーター、Hess 複像検査、ハンフリー自動視野計、ゴールドマン視野計など。

治療機器としてはYAGレーザー装置(YAG/SLT)、レーザー光凝固装置、また手術に使用する機器として手術顕微鏡(Zeiss Lumera700)白内障手術機器(Alcon Centurion)イメージガイドシステム(Verion)を備えています。



## スタッフ紹介



眼科部長

そのむら ゆきこ  
**園村 有紀子**

日本眼科学会  
眼科専門医



眼科医員

わたなべ りさこ  
**渡部 りさ子**

# 皮膚科

必要な検査を適切に行い、最適な治療を提案いたします。

皮膚科

子供から大人までのあらゆる皮膚疾患に対応し、皮膚症状だけでなく毛・爪・口唇・陰部など、身体の表面にあらわれる疾患の診察をしています。

## 主な対象疾患

### ●アレルギー・炎症性疾患 /

じんま疹、アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎（かぶれ）、尋常性乾癬、掌蹠膿疱症、薬疹など

### ●感染症 /

蜂窩織炎、丹毒、伝染性膿痂疹（とびひ）などの細菌感染症、単純疱疹、帯状疱疹（ヘルペス）、水痘（みずぼうそう）、尋常性ゆうぜい（イボ）などのウイルス感染症、足爪白癬（みずむし）、カンジダ症などの真菌感染症など

### ●皮膚腫瘍 /

粉瘤、脂肪腫、脂漏性角化症、日光角化症、ボーエン病、基底細胞癌など

### ●皮膚潰瘍 /

熱傷、褥瘡など

### ●その他 /

尋常性天疱瘡、水疱性類天疱瘡、多汗症、陥入爪、円形脱毛症など

## 診療科の特徴

皮膚疾患に対して最善の治療を行うためには、早期に適切な診断をすることが重要であり、当院では様々な検査（詳細な問診、パッチテスト、プリックテスト（※）、血液検査、ダーモスコピー（※）、皮膚生検、画像検査〈超音波検査、CT、MRI〉など）を行います。診断がついても治療方法は一つとは限りませんので、できるだけ患者さんの希望に添った治療を行うことを心掛けていきます。

尋常性乾癬、掌蹠膿疱症、アトピー性皮膚炎、慢性蕁麻疹などに対して生物学的製剤を使用して治療を行っています（生物学的製剤使用承認施設）。

皮膚腫瘍に対して、診断（皮膚生検、ダーモスコピー（※）、画像検査など）および治療を行っています。

定期手術は水曜日に手術室で行っています（予約制）。外来患者の小手術（粉瘤、脂漏性角化症、陥入爪など）は別の曜日に外来処置室で行うこともあります。

### ※プリックテスト

アレルゲンエキスを皮膚に一滴たらし、検査用の針を皮膚の表面に押し当てて、15分後の反応でアレルギー陽性を判断する検査です。

### ※ダーモスコピー

ダーモスコピーというライトがついた拡大鏡を使用して、皮膚の状態を詳しく診察する、まったく痛みを伴わない簡単な検査です。

## スタッフ紹介



皮膚科部長

はなだ けいじ  
花田 圭司

日本皮膚科学会専門医・指導医  
日本褥瘡学会認定師  
医学博士

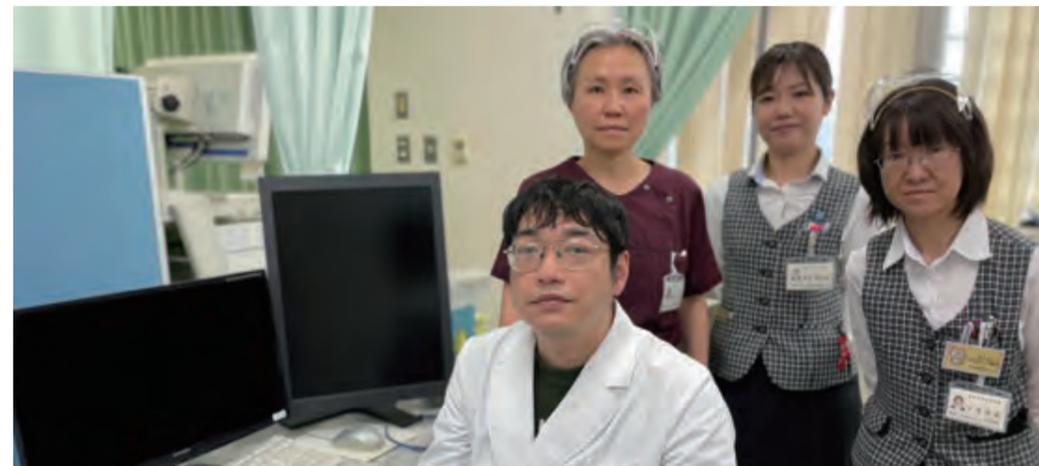
（非常勤）

たかみぞまさなり  
高溝 真成

# 耳鼻咽喉科

耳・鼻・のど、頸部と色々な部位の病気に対する診断・治療を行っています。

耳鼻咽喉科



耳・鼻・咽頭・喉頭・頸部の様々な部位におけるアレルギー・感染による炎症から、難聴・めまいなど感覚器の障害、音声・嚥下障害の検査など幅広く検査や治療を行っています。

## 主な対象疾患

●耳疾患 / 外耳炎、中耳炎、難聴、めまい、顔面神経麻痺

●喉頭疾患 / 喉頭炎、音声障害（しゃがれ声）

●鼻疾患 / アレルギー性鼻炎、慢性副鼻腔炎

●頸部疾患 / 甲状腺腫、リンパ節炎

●口腔・咽頭疾患 / 咽頭炎、扁桃炎、口内炎

## 診療科の特徴

現在は週3回、非常勤医師にて外来診察を担当しております。耳・鼻・のどから喉頭・頸部まで幅広く対応しています。非常勤体制ですので、入院や手術加療は原則として行っておりませんが、炎症性疾患や突発性難聴、顔面神経麻など急性期の疾患は、通院での点滴加療など可能な範囲で対応しています。入院・手術が必要な場合は、近隣の医療機関と連携して対応するようにしています。

### ●喉頭内視鏡装置

電子スコープとも呼ばれ、主にのどの奥である喉頭・下咽頭の観察に使用します。NBI（狭帯域光観察）システムという機能もついており、通常の内視鏡では見えない小さな癌も発見できることがあります。静止画像も撮影できますので、患者様にご自分ののどの様子を見て頂くことができます。



### ●オージオメータ

きこえの検査に使用する機械です。いろいろな周波数（高さ）の音を、音の大きさを変えて、患者さんの聞こえにくい音の高さ、大きさをしらべます。検査結果のグラフを見て、難聴が中耳の病気か内耳の病気か判定することができます。



## スタッフ紹介

（非常勤）

たき まさかつ  
瀧 正勝

日本耳鼻咽喉科・  
頭頸部外科学会専門医

（非常勤）

きのした しょうた  
木下 翔太

日本耳鼻咽喉科・  
頭頸部外科学会専門医

（非常勤）

たかぼたけ れな  
高島 伶奈

# 麻酔科

手術侵襲から患者さんを守るため、手術室スタッフと協力し厳密な管理をしています。

手術は患者さんにとって人生最大の外傷だと言われています。手術侵襲による体への影響を最小限に抑え、無事に手術を終えることが出来るよう最善を尽くしています。

## 主な対象疾患

●外科手術全般

## 診療科の特徴

手術を受けられる患者さん一人ひとりに対して、正確な術前リスク評価を行い、手術前の患者さんの状態を十分に把握し、患者さんにとって最良の麻酔方法をご提案させていただき、患者さんが安心・安全に手術を受けていただけるように、厳密な麻酔管理の施行に努めております。



## スタッフ紹介



診療部長 兼  
麻酔科部長  
まつもと やすのり  
松本 裕則

日本麻酔科学会指導医  
日本専門医機構麻酔科専門医  
日本ペインクリニック学会専門医  
日本医療安全学会認定  
高度医療安全推進者  
インфекションコントロールドクター  
スポーツドクター



麻酔科副部長 兼  
ICU副部長  
すぎ たかし  
杉 崇史

日本麻酔科学会専門医・指導医  
産業医



救急部長 兼  
麻酔科副部長  
ひらやま たかひろ  
平山 敬浩

日本救急医学会専門医  
日本集中治療医学会専門医

# リハビリテーション科

理学療法部門・作業療法部門・言語聴覚療法部門の各スタッフが早期から良質な訓練プログラムを提供し、患者さんのQOLの維持・向上を目指します。

## 主な対象疾患

- 脳血管疾患 / 脳出血、脳梗塞、脳腫瘍、頭部外傷、パーキンソン病など
- 運動器疾患 / 骨折、脱臼、腱・靭帯損傷、人工関節術後、関節リウマチなど
- 呼吸器疾患 / 肺気腫、呼吸不全、肺炎、外科術前・術後の呼吸合併症予防など
- 循環器疾患 / 心筋梗塞、心不全など
- がん / 乳癌、肺癌、胃癌、大腸癌など

## 診療科の特徴

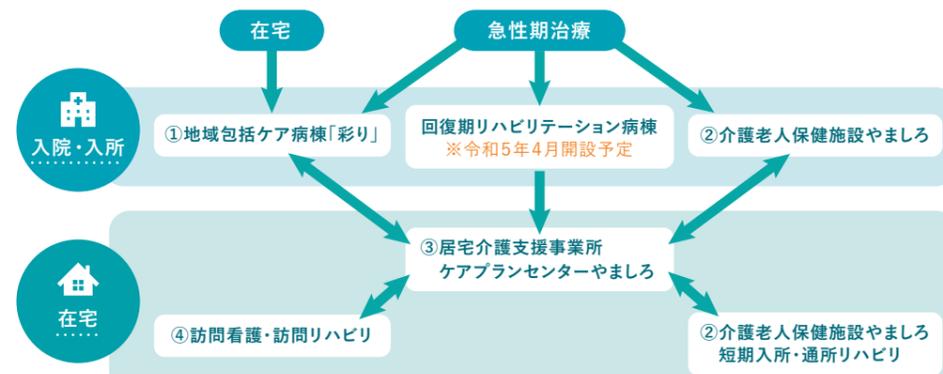
入院早期から患者さんの病態に合わせたリハビリテーションを実施します。社会復帰や機能に応じて発症前に近いADLの獲得を目指し患者さんのQOLの維持・向上に取り組んでいます。必要な方には訪問や外来などで退院後のフォローも実施しています。

京都府より山城南園地域リハビリテーション支援センターに指定され、訪問相談事業や地域のリハビリ従事者に対して研修を開催するなどさまざまな活動を行っています。



# 地域との連携体制について

私たちは住み慣れた地域で住み続けられる体制づくりに努めています。



※他事業所の介護サービスの利用も調整させていただきます。

病院（急性期病棟、地域包括ケア病棟）、居宅介護支援事業所、介護老人保健施設、訪問看護、訪問リハビリが一体となって、切れ目のない医療、介護体制を整備しています。

地域との連携体制について

## 1. 地域包括ケア病棟「彩り（いろどり）」

患者さん個々の生活に合わせた手助けをし、彩り豊かな病棟を目指します。

急性期治療後や自宅療養中の患者さんを対象に、在宅復帰支援をおこなう病棟です。在宅からの直接入院に力を入れています。

ご家族の介護負担軽減目的や、医療行為により介護施設のショートステイ利用が困難な患者さんの受け入れなど、地域で患者さんを支える体制を整えています。



問い合わせ先：0774-73-1818

## 2. 介護老人保健施設やましろ

住み慣れた地域でいつまでも生活を送るために・・・

介護を必要とする高齢者の自立を支援し、家庭への復帰を目指すために医師による医学的管理のもと、看護・介護・リハビリテーション、食事・入浴・レクリエーションなどの日常サービスを合わせて提供する施設です。

### <事業内容>

- 入所、短期入所、通所リハビリ

### <対象者・対象エリア>

- 入所：要介護1～要介護5
- 短期入所：要支援1～要介護5
- 通所リハビリ：要支援1～要介護5
- 木津川市、和東町、笠置町、南山城村、精華町



問い合わせ先：0774-73-0359

## 3. 居宅介護支援事業所 ケアプランセンターやましろ

皆様が安心してこの地域で住み続けられるお手伝いをさせていただきます。

令和4年4月、新たな事業として開設しました。

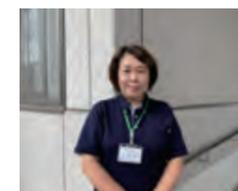
### <事業内容>

- 要介護認定の代行申請
- 介護を必要とする方やご家族の相談と援助
- 居宅サービス計画(ケアプラン)の作成
- 介護サービス提供事業所、医療機関、市町村等との連絡や調整

### <対象者・対象エリア>

- 要介護1～要介護5と認定された方
- 木津川市、和東町、笠置町、南山城村、精華町

問い合わせ先：0774-71-0039



## 4. 訪問看護・訪問リハビリ

自宅で患者さんが自分らしく生活できるようサポートすることが一番のやりがいです。

訪問看護では、急性期病院の特徴から医療度の高い患者さんの訪問看護を、訪問リハビリでは退院後の日常生活の自立と社会参加を目的とした在宅リハビリを行っています。医師や様々な在宅チームと連携し、住み慣れた自宅で患者さんらしい生活が過ごせるようサポートし、心に寄り添える支援を目指しています。

### <対象者・対象エリア>

- 医療度の高い方
- 要支援1～要介護5と認定された方
- 木津川市、和東町、笠置町、南山城村、精華町



問い合わせ先：0774-72-0235(代表)